

# 令和4年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

優秀賞

## セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会

(大阪市北区西天満4-5-5マーキス梅田707号室QWRC気付)

### 受賞者の取り組み

2013年より活動を始め、LGBTQをはじめとするセクシュアルマイノリティの暮らし、制度で足りないもの、医療、福祉、教育など生活保障として不足しているもの考える大会と位置づけられている。また、LGBTQ目障りがある当事者も対象として受け入れ、障害に合わせ必要な情報保障の体制を整備し運営している。

医療・福祉・教育の場面で各々の社会的資源がLGBTQを含む全ての人に使いやすいものになるにはどうすればいいか？を考える



#### 〈ポイント〉

- ・イベント参加者数  
2013年 第1回 約250人参加  
2014年 第2回 約300人参加  
2020年 第3回 約400人参加  
2021年 第4回 約2000人(オンライン)参加  
2022年 第5回 約750人(Youtube閲覧2500回以上)
- ・全てのプログラムに情報保障付き
- ・回を重ねるごとに開催期間を延ばし、分科会の参加がしやすいよう工夫されている。

#### 分科会スケジュール

	10:30 ~ 12:00	13:30 ~ 15:00	16:30 ~ 18:00	19:00 ~ 20:00
1/28 (金)	QWRC 流 コミュニティスペースの運営方法 コジ (NPO 法人 QWRC)	LGBTIQA の性暴力に 対応する社会システムの構築 岡田実穂 (BROKEN RAINBOW - JAPAN)	わたしたちの恋愛規範を考える ~恋愛のアタリマエはアタリマエ?~ きのこ、中村香住(レロ)、なしたに・みほ	1/28 (金) パネルセッション ・学校向け LGBTQ+ オンライン相談 小野アンリ (proud Futures) ・性別思い込みあるある動画教材 塩安九十九 (新設 C チーム企画)
1/29 (土)	大学 LGBT サークルから見る教育支援の展望 ~教育大学の LGBT サークル実践~ みゆっちゃん、津田和季 (Flower 大阪教育大) 丸山華愛 (BALLoon 愛知教育大)	Q-Losik の教育実践 ~関西学生 LGBTQ インター カレッジサークルの活動報告~	教員 21,634 人の LGBTs 意識調査レポート 日高庸晴 (宝塚大学)	
1/30 (日)	トランスジェンダーへの ヘイトに対抗するために (仮)	関西 LGBTQ+ 関連団体および 関西自殺対策関連団体のネットワーク 藤瀬 (NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝) 高橋 (ソラニジ・アクション) コジ (NPO 法人 QWRC)	性的マイノリティと高齢期「支援」 ~情報と人のネットワーク~ NPO 法人バーブルハンズ	
2/4 (金)	【プレ企画4の録画上映】(無料) セクマイ大会 2022 と情報保障 ~変動の時代のつながりづくり~	LGBT の就労状況と企業の支援 ファシリテーター: 今博人 (損害保険ジャパン株式会社) 登壇企業: パーソルチャレンジ株式会社、株式会社 Waris	トランスジェンダー生徒交流会 16年のあゆみ 土肥いつき	
2/5 (土)	インクルーシブな性教育 ~児童養護施設の児童 障害を持つ児童への実践~ 徳永桂子	セクシュアルマイノリティと仕事 ~「キャリア」と「法律」の知識を役立てる~ 永井均 (ながいキャリア社労士事務所)	外国人 LGBTQ の現状とメンタルヘルス ~日本とオーストラリアの支援~ (仮) 河津レナ (カラフル命はーど) 山田タエコ (心理セラピスト)	2/5 (土) パネルセッション ・LGBT と職場の状況に関する 経年変化 nijivoICE2018-2020 から 村本真紀 (監製 NPO 法人 虹野 (IrisNet)) ・インクルーシブな運動施設とは 大森暁 (Ninaru)
2/6 (日)	Trans+オーラル・ヒストリー・プロジェクト ~カナダと日本を比較しながら~ 鶴田幸恵 (千葉大学)	誰もが安心して医療サービスに アクセスできる社会を目指して ~にいろいろドクターズからの発信~	16:00 ~ 17:00 クロージングパーティ	



@Rainbowtalkai

@queertalkai

随時更新中!



### 講評

性的マイノリティの生活保障を考える大会で、様々なテーマで多岐にわたり分科会が設定されていて活発な活動が行われており、専門家や当事者のネットワーク作りに繋がっていることを評価。また、LGBTQ当事者の括りを越え、多様な配慮が必要な人等に対応していく方針は注目に値する。国土交通省の『公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン(旅客施設編)』においては、トイレに関し性的マイノリティの利用に配慮する記載がされているが、これまでの大会でも公共トイレの取組が報告されるなど普及/啓発に繋がるものであり国土交通省が示す方向性にも合致。今後の継続的な活動に期待したい。